

シアントラニプロロール・チアメトキサム粒剤 ミネクトデュオ粒剤	取扱メーカー： シンジェンタ 原体メーカー： FMC, シンジェンタ
成分： シアントラニプロロール〔アントラニリックジアミド系〕…0.5% チアメトキサム〔ネオニコチノイド系〕……………0.3%	性状： 褐色細粒
	毒性： 普通物 消防法： —

【品目特性】……………

- チョウ目、コナジラミ類、アザミウマ類、アブラムシ類、ハモグリバエ類と、主要害虫をもれなくカバー。
- 果菜の鉢上げ時・葉菜のは種覆土後の処理で、育苗期はもちろん、果菜は定植後約3週間、葉菜は定植後3～4週間まで効果が持続する。
- 果菜の鉢上げ・葉菜のは種覆土作業に合わせて処理できるので、労力の軽減が図れる。
- ウイルス病のベクターとなる害虫に対し、速効的な吸汁活動阻害を示すため、ウイルス病の感染抑制効果が期待できる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- セル成型育苗トレイ又はペーパーポットに使用する場合は、散布した粒剤が水分により溶解し茎葉部で固まることで汚れや部分的な枯れが生じる場合があるため、以下の点に注意する。
 - 灌水直後や朝露などで茎葉が濡れている状態での散布をさける。
 - 茎葉に付着した粒剤は払い落とし、粒剤が茎葉に残らないようにする。

【薬効・薬害等の注意】……………

- は種覆土後の処理において、粒剤散布後の過度の灌水により薬害を生じるおそれがあるので十分注意する。

【安全対策上の注意】……………

- カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。
- 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので、使用時は注意。
- ミツバチ及びマルハナバチ等に対して影響があるので、ミツバチ及びマルハナバチ等の巣箱及びその周辺にかからないようにする。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにする。



【適用と使用方法】

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
キャベツ	ハイマダラノメイガ	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り20g	は種時	1回	散布	4回以内 (定植時までの処理は1回以内, 定植後の散布は3回以内)	4回以内 (定植時までの処理は1回以内, 定植後の散布は3回以内)
		1g/株	定植時		株元散布		
ブロッコリー	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ アザミウマ類	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g	は種覆土後～育苗期後半		散布		
		1g/株	定植時		株元散布		
	コナガ	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り20g	は種時		散布		
はくさい	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ カブラハバチ	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g	は種覆土後～育苗期後半				
	アオムシ コナガ アブラムシ類 ハイマダラノメイガ	1g/株	定植時		株元散布		
レタス	アブラムシ類	6g/培土ℓ	は種前		育苗培土混和		3回以内 (種子への処理, 水和剤の灌注及び粒剤の処理は合計1回以内, 定植後の散布は2回以内)
	ヒメフタテンヨコバイ	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g	育苗期後半				
	アブラムシ類 ネキリムシ類 オオタバコガ ハモグリバエ類	セル成型育苗トレイ1箱又はペーパーポット1冊(約30×60cm, 使用土壌約1.5～4ℓ) 当り40g	は種覆土後～育苗期後半		散布		
		1g/株	定植時		株元散布		

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
リーフレタス	アブラムシ類 ネキリムシ類 オオタバコガ ハモグリバエ類 ヒメフタテンヨコバイ	セル成型育苗 トレイ1箱又は はペーパー ポット1冊(約 30×60cm, 使用 土壌約1.5 ～4ℓ) 当り 40g	は種覆土後～ 育苗期後半	1回	散布	4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 定 植後の散布 は3回以内)	1回
	非結球レタス (リーフレタス を除く)		育苗期後半				
ね　　ぎ	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類 タネバエ	6kg／10a	定植時		植溝土壌 混和	4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 定 植後の処理 は3回以内 (但し, 株元 灌注は1回 以内))	4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 定 植後の処理 は3回以内)
	アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネキリムシ類				作条散布		
	アザミウマ類 ハモグリバエ類		収穫3日前 まで	3回 以内	株元散布		
きゅうり	アザミウマ類	3g／培土ℓ	鉢上げ時	1回	育苗培土 混和	4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 定 植後の散布 は3回以内)	4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 散 布は3回以 内)
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類	1g／株	鉢上げ時～ 育苗期後半		株元散布		
メ　ロ　ン	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2g／株				1回	4回以内 (粒剤の処理 は1回以内, 散布は3回 以内)
す　い　か						4回以内 (定植時までの 処理は1 回以内, 定 植後の散布 は3回以内)	
ピーマン							1回
な　　す	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	6g／培土ℓ	鉢上げ時		育苗培土 混和		1回

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数	チアメトキサムを含む農薬の総使用回数
トマト	コナジラミ類	6g／培土 ℓ	鉢上げ時	1回	育苗培土混和	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)	4回以内 (定植時までの処理は1回以内、散布は3回以内)
	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ハスモンヨトウ	2g／株	鉢上げ時～ 育苗期後半		株元散布		3回以内 (粒剤の処理は1回以内、散布は2回以内)
ミニトマト	コナジラミ類	6g／培土 ℓ	鉢上げ時		育苗培土混和		